

がんと診断された あなたへ

患者支援センター（がん相談支援センター）

鈴木 齋王

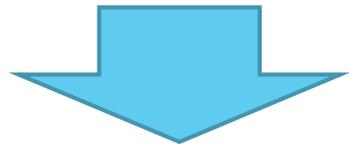
がん情報サービス ganjoho.jp

がんと診断された
あなたに
知ってほしいこと



不安を感じていませんか？

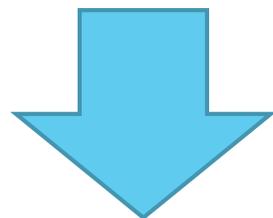
- ▶ 『がん』と告知されたが、先生の話が全く入ってこなかった。
- ▶ 家族に（本人に）伝えるべきかわからない。
- ▶ 今後の生活はどうなるのだろう？
- ▶ よりによって、自分が『がん』になるなんて。間違いに間違いはない。



先生は忙しそうだし、どうしましょう。

誰かに話をしてみましよう。

- ▶ 話をするうちに、自分の持っている情報や感情が整理できる。
- ▶ 身内に話をするとう心配するから、話しづらい。
- ▶ 信用できる相手でないとう心配。



医療スタッフの居る
がん相談支援センターに行ってみませんか。

がん相談支援センターって？

- ▶ 全国にあるがん相談窓口です。
 - ▶ がん診療連携拠点病院（大学病院など）
 - ▶ がん診療指定病院（県立病院など）
 - ▶ **受診に関係なく相談できます。**
- ▶ どんな小さなことでも相談できます。
 - ▶ 仕事の継続
 - ▶ 医療費の支払い
 - ▶ **ぼんやりとした不安**
- ▶ どんなタイミングでも相談できます。
 - ▶ 治療前、治療中、治療後いつでも構いません。
 - ▶ 窓口が開いている時間に起こしいただくか電話してください。

先生の話が分からなかった。

- ▶ 専門用語が多くて分からなかった。
- ▶ 話し方が速すぎて理解が追いつけなかった。
- ▶ 薬の名前が憶えられなかった。
- ▶ 説明を受けても手術の方法がわからなかった。
- ▶ 病名が許容できなくて頭の中が真っ白になった。

⋮
⋮
⋮
⋮

正しい情報を入手しましょう。

▶ 主治医

- ▶ あなたの病気を一番把握しているのは主治医です。
- ▶ 先生は忙しいのではないか？
 - ▶ 後で見返せるようにメモを取りましょう。
 - ▶ 質問する内容のリストを作っておきましょう。

▶ がん情報サービス

- ▶ 国立がん研究センター発出の情報です。
- ▶ 冊子も準備されています。
- ▶ がん相談支援センターで情報の取り方や冊子の場所を尋ねましょう。

▶ インターネット上の情報

- ▶ 情報が古い場合もある。
- ▶ 保険診療ではなく自前で支払わなければならない治療法のこと。
- ▶ 詐欺まがいのこともあります。

最適な治療とは？

▶ 医師

- ▶ 手術、抗がん剤、放射線治療など、がんの種類や進行の程度で判断されます。
 - ▶ 標準治療と呼ばれる治療方法が基準となります。
- ▶ 身体の状態により、種類の変更や減量・延期があります。
- ▶ 基本的には治癒を目指します。
 - ▶ 治癒するまで頑張ろうとします。
- ▶ 医師により意見が異なる場合があります。
 - ▶ 多くの場合、意見が異なることはありませんが、稀に異なることもあります。

▶ 行政

- ▶ 保険診療を決めて高額になりすぎるのを抑制します。
- ▶ 保険診療と自由診療（法律で認められていない治療）の併用は原則できません。

▶ 患者さん

- ▶ 効果が高い治療が良い。
- ▶ 副作用が無い方が良い。
- ▶ 休む時間は少ない方が良い。
 - ▶ できれば仕事をしながら治療を受けたい。
- ▶ 知り合いがその治療は止めたほうが良いという。

誰に尋ねれば良い？

- ▶ がん治療はチームで行っている
 - ▶ 医師（外科、内科など）、薬剤師、緩和ケアチーム、看護師、心理士、栄養士など
 - ▶ **がん相談支援センター**もある
 - ▶ MSW（医療社会福祉士）や認定看護師さんが相談にのってくれます。
- ▶ セカンドオピニオンもある
 - ▶ 他の医療施設の先生の意見を聞くこともできます。
- ▶ ピアサポーターもいる
 - ▶ がんサロンやがん相談支援センターでがんサバイバーと呼ばれる、がん治療を終了した患者さんや治療中の患者さんの話を聞くことができます。

がん治療を受けながらの生活は？

- ▶ 仕事をしながら治療は受けられるのか？
 - ▶ 手術や抗がん剤を投与する日から数日は仕事はできないかもしれません。
 - ▶ 治療と治療の間は仕事ができるかもしれません。
 - ▶ 職場の就業規則や福利厚生はどうなっているのか確認しましょう。
 - ▶ ハローワークや産業保健総合支援センターにも相談できます。
 - ▶ がん相談支援センターに出張してきている日もあります。
- ▶ 家族にはどう伝えたら良いの？
 - ▶ ご家族の状況により一律な方法はありません。
 - ▶ がん相談支援センターと一緒に考えてもらいましょう。
- ▶ お金の蓄えがありません。
 - ▶ いろいろな助成制度により負担が軽くなる場合があります。
 - ▶ MSWは専門家ですので、相談してください。
- ▶ 気分が落ち込む
 - ▶ 臨床心理士や医師による専門的なケアが必要な場合もあります。
 - ▶ ピアサポーターからも体験談を聞くことができます。

まとめ

- ▶ がん相談支援センターは
 - ▶ 患者さんの意志決定を支援する場所です。
 - ▶ まずは訪れてみてください。
 - ▶ いろいろな相談を専門家へつなぐ窓口です。
 - ▶ 医師へのおねがい
 - ▶ セカンドオピニオンの依頼
 - ▶ がんサロンへの参加
 - ▶ 支援制度の紹介
 - ▶ 就業と治療の両立支援
 - ▶ 心理カウンセリング紹介
- など